

平成26年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年9月11日

上場会社名 株式会社オーエムツーネットワーク 上場取引所 東
 コード番号 7614 URL http://www.om2.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大越 勤
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 澄川 新一 TEL 03 (5405) 9541
 四半期報告書提出予定日 平成25年9月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年1月期第2四半期の連結業績（平成25年2月1日～平成25年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年1月期第2四半期	16,789	2.3	560	△11.1	631	△13.7	324	△8.0
25年1月期第2四半期	16,415	9.4	631	100.0	731	86.7	352	314.6

(注) 包括利益 26年1月期第2四半期 323百万円 (△8.8%) 25年1月期第2四半期 354百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年1月期第2四半期	47.55	—
25年1月期第2四半期	51.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年1月期第2四半期	13,805	7,710	55.9	1,131.28
25年1月期	13,933	7,523	54.0	1,103.79

(参考) 自己資本 26年1月期第2四半期 7,710百万円 25年1月期 7,523百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年1月期	—	0.00	—	20.00	20.00
26年1月期	—	0.00	—	—	—
26年1月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年1月期の連結業績予想（平成25年2月1日～平成26年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,500	△0.7	1,350	△6.6	1,550	△3.2	750	4.6	110.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 一社（社名）一、除外 1社（社名）ミスタースタミナ株式会社

（注）詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年1月期2Q	7,335,634株	25年1月期	7,335,634株
② 期末自己株式数	26年1月期2Q	519,453株	25年1月期	519,453株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年1月期2Q	6,816,181株	25年1月期2Q	6,816,183株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注意事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政権交代による経済政策への期待感から円高の是正や株価の上昇など景気回復の兆しは見られたものの、欧州の財政問題や新興国経済の成長鈍化を背景に、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループ中核事業の属する食品小売及び外食業界におきましても、消費者の低価格志向が根強く、また円安の影響による輸入原材料の価格上昇などもあり、厳しい状況が続いております。

このような中で当社グループは、中長期にわたる経営力の強化を目指し、主力事業である食肉等の小売業における連結子会社の合併や、新規ディベロッパーとの取り組みによる出店や既存店活性化活動の継続、提案型販売の強化等を進めてまいりました。外食事業にあつてはステーキレストランチェーン事業の競争力向上のための施策を実施し、また加工事業における新規顧客開拓及び既存顧客との深耕取引等に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は167億89百万円（前年同期比2.3%増）、営業利益は5億60百万円（同11.1%減）、経常利益は6億31百万円（同13.7%減）、四半期純利益は3億24百万円（同8.0%減）となりました。

営業の概況をセグメント別に記述すると以下の通りであります。

「食肉等の小売業」

当第2四半期連結累計期間中の開店は15店、閉店は14店であり、その結果、当第2四半期末の店舗数は145店になりました。内訳は食肉小売店118店（前期末比増減なし）、惣菜小売店27店（同1店増）であります。当セグメントを取り巻く環境は上記記載の通りで、その結果売上高は98億88百万円（前年同期比2.6%減）、営業利益は3億85百万円（同16.4%減）となりました。

「食肉等の製造・加工業」

主力のハム・ソーセージ部門において取引先の新規深耕開拓に加え、他部門においても既存取引先へ新規商品やリニューアル商品を導入したことなどから、売上高は33億55百万円（前年同期比11.4%増）となりました。営業利益は原料相場の高騰等の影響から1億1百万円（同45.0%減）となりました。

「外食業」

当第2四半期連結累計期間中の開店が2店あり、その結果、当第2四半期末の店舗数は62店になりました。売上高につきましては、㈱焼肉の牛太は新店の牽引、㈱オーエムツダイニングは新店や期間限定メニューの取り組み等の結果、38億48百万円（前年同期比8.6%増）となりました。営業利益につきましては、店舗損益の改善の他、前年同期にあった㈱焼肉の牛太ののれんの償却47百万円が償却完了によりなくなったため、営業利益は2億51百万円（同77.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の主要勘定の金額及びその前連結会計年度末比は以下の通りであり、大きな変動はありません。

流動資産	87億27百万円（前期末比△1.1%）
固定資産	50億77百万円（同△0.7%）
総資産	138億5百万円（同△0.9%）
流動負債	45億85百万円（同△2.1%）
固定負債	15億8百万円（同△12.5%）
純資産	77億10百万円（同+2.5%）
負債・純資産合計	138億5百万円（同△0.9%）

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて4億39百万円減少し、45億26百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果得られた資金は2億77百万円（前年同期は8億68百万円の

獲得)となりました。これは、法人税等の支払4億97百万円及びたな卸資産の増加2億61百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益5億91百万円、有形・無形の減価償却費2億59百万円(のれん償却額含む)が寄与したこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は3億7百万円(前年同期は7億53百万円の使用)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出2億55百万円及び貸付金の純減額65百万円があったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果使用した資金は4億9百万円(前年同期は3億23百万円の使用)となりました。これは、借入金の純減額2億73百万円及び配当金の支払1億36百万円があったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年1月期の通期業績予想につきましては、平成25年3月12日に公表いたしました内容に変更はございません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間においてミスタースタミナ㈱は、当社の連結子会社である㈱オーエムツーミートとの合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,765,994	5,326,494
受取手形及び売掛金	847,243	893,596
テナント未収入金	1,035,375	1,009,333
商品及び製品	560,188	584,386
仕掛品	10,402	11,256
原材料及び貯蔵品	244,568	480,710
繰延税金資産	104,414	92,523
未収入金	141,253	174,543
その他	133,493	175,102
貸倒引当金	△21,297	△20,019
流動資産合計	8,821,636	8,727,926
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,997,315	4,148,939
減価償却累計額	△2,411,508	△2,463,875
建物及び構築物（純額）	1,585,806	1,685,063
機械装置及び運搬具	1,704,185	1,754,640
減価償却累計額	△1,452,963	△1,477,090
機械装置及び運搬具（純額）	251,221	277,550
土地	749,186	749,186
その他	1,422,049	1,370,166
減価償却累計額	△988,870	△1,006,268
その他（純額）	433,179	363,897
減損損失累計額	△447,993	△434,173
有形固定資産合計	2,571,400	2,641,524
無形固定資産		
のれん	29,099	25,462
その他	152,551	145,808
無形固定資産合計	181,651	171,270
投資その他の資産		
投資有価証券	120,875	115,864
長期貸付金	8,328	21,826
繰延税金資産	247,235	226,089
敷金及び保証金	1,460,829	1,407,595
投資不動産	441,636	441,636
減価償却累計額	△37,015	△51,871
投資不動産（純額）	404,620	389,765
その他	138,065	124,606
貸倒引当金	△21,322	△20,822
投資その他の資産合計	2,358,632	2,264,924
固定資産合計	5,111,684	5,077,719
資産合計	13,933,321	13,805,645

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,172,233	2,381,925
短期借入金	560,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	410,458	376,750
未払金	428,849	455,681
未払法人税等	478,841	214,781
賞与引当金	104,414	127,056
その他	530,229	529,705
流動負債合計	4,685,027	4,585,900
固定負債		
長期借入金	1,163,438	983,502
長期未払金	1,956	1,206
退職給付引当金	231,269	208,521
役員退職慰労引当金	72,179	60,495
資産除去債務	178,633	181,450
その他	77,176	73,570
固定負債合計	1,724,653	1,508,746
負債合計	6,409,680	6,094,647
純資産の部		
株主資本		
資本金	466,700	466,700
資本剰余金	1,064,000	1,064,000
利益剰余金	6,457,739	6,645,503
自己株式	△476,078	△476,078
株主資本合計	7,512,361	7,700,124
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,279	10,874
その他の包括利益累計額合計	11,279	10,874
純資産合計	7,523,640	7,710,998
負債純資産合計	13,933,321	13,805,645

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年7月31日)
売上高	16,415,953	16,789,402
売上原価	10,202,154	10,688,982
売上総利益	6,213,798	6,100,419
販売費及び一般管理費	5,582,761	5,539,650
営業利益	631,037	560,769
営業外収益		
受取利息	1,322	4,838
受取配当金	1,112	1,193
持分法による投資利益	6,820	—
受取賃貸料	58,630	67,110
協賛金収入	29,931	25,322
受取手数料	6,783	12,508
貸倒引当金戻入額	15,307	500
その他	22,322	9,220
営業外収益合計	142,231	120,692
営業外費用		
支払利息	10,981	8,356
持分法による投資損失	—	6,444
不動産賃貸原価	29,465	35,072
その他	1,170	111
営業外費用合計	41,617	49,985
経常利益	731,651	631,477
特別利益		
有形固定資産売却益	—	163
特別利益合計	—	163
特別損失		
有形固定資産除却損	26,243	2,107
有形固定資産売却損	46	—
減損損失	32,857	8,124
店舗閉鎖損失	13,425	26,277
その他	—	3,729
特別損失合計	72,572	40,239
税金等調整前四半期純利益	659,078	591,401
法人税、住民税及び事業税	297,520	234,101
法人税等調整額	9,455	33,212
法人税等合計	306,975	267,314
少数株主損益調整前四半期純利益	352,103	324,086
四半期純利益	352,103	324,086

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	352,103	324,086
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,737	△404
その他の包括利益合計	2,737	△404
四半期包括利益	354,840	323,681
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	354,840	323,681

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	659,078	591,401
減価償却費	285,337	256,056
減損損失	32,857	8,124
のれん償却額	50,918	3,637
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△12,556	△1,778
受取利息及び受取配当金	△2,435	△6,031
支払利息	10,981	8,356
持分法による投資損益(△は益)	△6,820	6,444
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△213	△22,748
賞与引当金の増減額(△は減少)	32,703	22,642
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,080	△11,684
有形固定資産売却損益(△は益)	46	△163
有形固定資産除却損	26,243	2,107
その他の営業外損益(△は益)	△117	△135
その他の特別損益(△は益)	—	1,167
店舗閉鎖損失	3,976	—
資産除去債務履行差額	△6,260	△499
受取保険金	△6,194	—
売上債権の増減額(△は増加)	△7,725	△20,310
たな卸資産の増減額(△は増加)	△70,915	△261,194
仕入債務の増減額(△は減少)	84,847	209,692
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△36,374	△18,280
その他の流動負債の増減額(△は減少)	169,731	10,480
小計	1,210,188	777,284
利息及び配当金の受取額	2,435	6,031
利息の支払額	△10,981	△8,627
法人税等の支払額	△332,943	△497,268
営業活動によるキャッシュ・フロー	868,699	277,420
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△500,000	—
有形固定資産の取得による支出	△176,473	△255,521
有形固定資産の売却による収入	114	618
無形固定資産の取得による支出	△1,919	△2,934
長期貸付けによる支出	—	△75,000
長期貸付金の回収による収入	2,140	9,672
投資有価証券の取得による支出	△2,417	△2,384
保険積立金の解約による収入	15,556	—
資産除去債務の履行による支出	△3,150	△4,838
敷金及び保証金の差入による支出	△62,187	△31,010
敷金及び保証金の回収による収入	49,303	76,744
その他の支出	△81,286	△22,689
その他の収入	7,099	235
投資活動によるキャッシュ・フロー	△753,220	△307,107

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年7月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△154,000	△60,000
長期借入れによる収入	200,000	—
長期借入金の返済による支出	△231,328	△213,644
配当金の支払額	△135,913	△136,046
その他	△2,289	△121
財務活動によるキャッシュ・フロー	△323,530	△409,812
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△208,052	△439,500
現金及び現金同等物の期首残高	4,507,175	4,965,994
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,299,123	4,526,494

(4) 四半期連結財務諸表に関する注意事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食肉等の 小売業	食肉等の製 造・加工業	外食業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,142,272	2,745,306	3,528,374	16,415,953	—	16,415,953
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14,748	265,291	15,266	295,306	△295,306	—
計	10,157,021	3,010,598	3,543,641	16,711,260	△295,306	16,415,953
セグメント利益	461,025	183,886	141,793	786,705	△155,668	631,037

(注) 1. セグメント利益の調整額△155,668千円は、セグメント間取引消去△13,697千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△141,971千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食肉等の小売業」及び「外食業」セグメントにおいて、店舗設備等の一部の資産は、当該事業に係る損益及びキャッシュ・フローが継続してマイナスとなる状況であるため、当第2四半期連結累計期間において、収益性が著しく低下しているものと判断し、帳簿価額を回収可能価額等まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

「食肉等の小売業」及び「外食業」セグメントにおいて、それぞれ30,838千円、2,018千円の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において32,857千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成25年2月1日 至平成25年7月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食肉等の 小売業	食肉等の製 造・加工業	外食業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,857,753	3,101,099	3,830,549	16,789,402	—	16,789,402
セグメント間の内部売上高 又は振替高	30,360	254,100	17,648	302,109	△302,109	—
計	9,888,113	3,355,200	3,848,198	17,091,512	△302,109	16,789,402
セグメント利益	385,373	101,088	251,153	737,616	△176,846	560,769

(注) 1. セグメント利益の調整額△176,846千円は、セグメント間取引消去△26,154千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△150,691千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食肉等の小売業」セグメントにおいて、店舗設備等の一部の資産は、当該事業に係る損益及びキャッシュ・フローが継続してマイナスとなる状況であるため、当第2四半期連結累計期間において、収益性が著しく低下しているものと判断し、帳簿価額を回収可能価額等まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に8,124千円計上しております。